

ドーピングとは？

競技力を高めるために、
禁止されている物質や方法を使用したり、
それらの使用を隠したりする行為

アンチ・ドーピングの理念

【PLAY TRUE】: チームワーク、楽しみ、勇気、すぐれた競技能力、倫理観
フェアプレイ、喜び、ルールの慎重、健康、献身

スポーツの価値を守る

ドーピングをしていない選手、成績活動を守る

2004年～

世界アンチ・ドーピング規定

- ・“PLAY TRUE”を実現するための約束
- ・全世界・全スポーツ統一

役割と責務

クリーンなスポーツに参加するすべてのアスリートの権利を守る

10のアンチ・ドーピング規則違反

- ① 採取した尿や血液に禁止物質が存在すること
 - ② 禁止物質・禁止方法の使用または使用を企てること
 - ③ ドーピング検査を拒否または避けること
 - ④ ドーピング・コントロールを妨害または妨害しようとする事
 - ⑤ 居場所情報関連の義務を果たさないこと
 - ⑥ 正当な理由なく禁止物質・禁止方法を持っていること
 - ⑦ 禁止物質・禁止方法を不正に取引し、入手しようとする事
 - ⑧ アスリートに対して禁止物質・禁止方法を使用または使用を企てること
 - ⑨ アンチ・ドーピング規則違反を手伝い、共謀し、関与すること
 - ⑩ アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で関係を持つこと
- 体内に摂取するものはすべてアスリートの責任

【禁止表国際基準】

- ・ 禁止物質・禁止方法が記載
- ・ 全世界・全スポーツ共通

少なくとも1年に1回（毎年1月1日）更新

Global DROで確認

- ・ 薬の成分に禁止物質が含まれているか検索可能
- ・ パソコンやスマートフォンからアクセス
（→JADAのホームページ）
- ・ 検索結果は、メールとPDFで保管

スポーツファーマシストに相談

- ・ 最新のアンチ・ドーピングに関する情報を持つ薬剤師
- ・ 病院、薬局、ドラッグストアなどに在籍
- ・ 身近なスポーツファーマシストを検索できるサイト
（→JADAホームページ）

専門科でも禁止物質の有無が判断できないもの

- ・ サプリメント・栄養ドリンク
「食品」のため、すべての成分が明確ではない
- ・ 漢方薬
「生薬」のため、すべての成分が明確ではない

* 医薬品は、法律により、すべての成分が明確である

なぜドーピング検査が必要なのか？

ドーピング検査

- ・ 信頼性が保たれた検査
- ・ 世界で統一されたルール
- ・ 尿検査と血液検査

→ ・ アスリート自身がクリーンであることを証明
・ 自分のスポーツがクリーンであることを証明

ドーピング検査：尿検査

- ① 検査通告を受けたら「通告書」にサイン
検査には成人1名（+通訳者）を同伴できる
- ② 複数の採尿カップから1つを選ぶ
- ③ 採尿を行う
- ④ サンプルキットを選び不審な点がないか確認する
- ⑤ 尿を2つの検査ボトルに移しフタをする
検査で不審に感じた点などは記録に残すことができる
- ⑥ 検査書類に間違いがないか確認する
- ⑦ 「公式記録書」に署名、検査終了！

ドーピング検査：血液検査

- ① 検査通告を受けたら「通告書」にサイン
検査には成人1名（+通訳者）を同伴できる
- ② 椅子に座って10分間リラックスする
*採血前に運動していた場合は2時間待機後採血
- ③ 問診を受ける
- ④ サンプルキットを選び不審な点がないか確認する
- ⑤ 採血を行う
- ⑥ 採血管を検査ボトルに移しフタをする
検査で不審に感じた点などは記録に残すことができる
- ⑦ 検査書類に間違いがないか確認する
- ⑧ 「公式記録書」に署名、検査終了！

TUE（治療使用特例）

誰もがスポーツに平等に参加する権利

- ・ 禁止物質・禁止方法は使用しない
- ・ 特例として治療目的で使用する場合、TUE申請を行う必要がある

TUEを取得するための条件

4つすべての条件を満たす

- ① 使用しないと健康に重要な影響が出る
- ② 他に代えられる治療方法がない
- ③ 健康を取り戻す以上に競技力を向上させない
- ④ ドーピングの副作用に対する治療ではない

緊急で治療が必要な場合

禁止物質・禁止方法を使用して緊急で治療をしないと、
健康に重大な影響を及ぼす場合

→ 緊急の治療を優先

→ 速やかにTUE申請する（遡及的TUE申請）

薬局で薬を購入するとき

薬局へ行く前にやるべきこと

スポーツファーマシストがいる薬局を調べる

Be the Real Champion

勝つこと＋スポーツの価値を理解・伝え拓げること

PLAY TRUE

→ 「真のチャンピオン」

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）研修会資料より抜粋

岐阜県バドミントン協会

スポーツ医科学委員長

小島 敏弘